



橙組・緑組・青組だより



令和7年11月28日
国立保育園
3.4.5 歳児クラス

12月号

今年のカレンダーも残すところあと1枚になりました。子どもたちの頭の中は、『クリスマス』モードになり、「サンタさんに〇〇たのむんだ!」という声が聞こえていたりしています。季節は冬のはずですが、日中は上着を脱いで遊んでいたりと季節がわからなくなるような気候の中でも子どもたちは元気いっぱいに過ごしています。12月は子どもたちにとって一番楽しいイベントがある1ヶ月。体調の変化に十分気を付けながら、年越しを迎えられるよう過ごしていきたいと思います。



〇だいたい組

- ・遊びや生活の中で自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づけるようにしていく。
- ・自分でできた喜びを味わいながら、身の回りの進んでしてみる。
- ・季節の行事に興味関心を持ち、友だちと表現することを楽しむ。

〇みどり組

- ・手洗い・うがいを丁寧に行い、健康に過ごす。
- ・思いを伝えあいながら、友だちとの関わりを深めていけるようにする。
- ・おたのしみ会への取り組みに興味を持ち、友だちと表現することを楽しむ。

〇あお組

- ・戸外で思いきり身体を動かし、健康的に過ごす。
- ・自分の意見を主張したり、相手の思いを受け入れたりしながら、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ・共通の目的に向かって一緒に取り組み、達成感や充実感を味わう。

おねがい

- 園庭で遊ぶ際には、登園時に着用してきた上着を着て遊びます。
(フードや紐等がなく、自分で着用し、汚れてもいいもの、動きやすい物)
- 長袖の肌着の着用を控えていただけるようお願いいたします。体温調節がしにくく、熱がこもってしまったり、汗をかく姿も見られています。
- 衣類の大きさ、記名をご確認ください。(小さく着脱がしにくい姿が見られています)
- 体調不良で欠席をする場合、キッズレポの伝言メモに熱や症状など詳細を入力していただくようお願いいたします。(感染症の場合は、必ずご連絡をお願いします)



12月13日(土)にお楽しみ会を行います。

場所:国立保育園ホールにて



時間、服装などの詳細は、お手紙を配布や掲示、ドキュメンテーション等でお知らせいたしますので、ご確認ください。
ご質問等がありましたら、担任までお伝えください。



3歳児クラス だいたい組 『てつぼうにチャレンジ！』

10月11月の2ヶ月間の体育指導は、『鉄棒』でした。「やったー！」と喜ぶ子がいたり、「こわい…」と思う子もいました。鉄棒をするときのお約束もすぐに覚え、ブランコのようにぶら下がったり、『ブタのまるやき』、アゴを鉄棒に乗せながら、腕を曲げて足をあげる『ダンゴ虫のポーズ』を何度も挑戦していた子どもたち。色んな身体の部分を使うので難しい部分もありますが、『できた！！』と、いう満面の笑みや自信満々な表情を見せる子どもたちを見るととっても嬉しい気持ちになり、一緒に喜んでしまいます。少しずつ『前回り』に挑戦中の子どもたち。ジャンプをして鉄棒にお腹を乗せて両腕を伸ばし、『ツバメのポーズ』をしてから、お臍を見ながら前にたおれて、最後回る…という流れは、子どもたちにとってはとても難しく、こわい…という気持ちと葛藤しながら取り組んでいます。できないからやらない…ではなく、できるところまで、自分でしてみようとしている子どもたちの姿に成長を感じる2ヶ月間でした。何でも興味を持ち、「やってみよう！」「できるようにになりたい！」と、いう子どもたちの気持ちや取り組む姿勢を大切にしながら一緒に過ごしていきたいと思います。



4歳児クラス みどり組 『みてみて』

園庭では色々な遊びがくり広げられています。1つ目はカラーバケツに縄跳びを通してくくりつけて、ブランコを作りマットを上にマットを乗せると2人乗りブランコの完成。向かい合って豪快に漕ぎ合っています。2つ目はタイヤとマット、カラーバケツを並べて「ライオンバス」を作りました。バスに乗るお客さんとライオン役が出来て、タイヤの真ん中から玩具のお肉をライオンへ渡す遊びを楽しみました。ライオン役は、築山に登ったり、大きな口を開けてご飯を食べたりする真似がとても上手でした。3つ目はタイヤを3段重ねてマットを入れ、赤ずきんちゃんのオオカミが落ちるドブを再現していたのですが、途中から。バスマットの上に登ったり寝転んだり子どもたち同士でイメージを伝え合い、「じゃーこうしよう」「〇ちゃん一緒にやろう」と違う遊びへ展開していました。追いかけっこや氷鬼も少人数から「一緒にやりたい」「入れて」と伝えて沢山のお友だちで遊ぶ姿が多くなってきました。今後も子どもたちから聞こえる言葉を聞き逃さず、「楽しかった」と感じられる遊びをしていきたいと思います。



5歳児クラス あお組 『新しい出会い』

11月から新しいお友だちが仲間入りし、クラスにまたひとつ嬉しい出会いがありました。子どもたちは「こうするんだよ」「一緒に行こう」と、優しく声をかけたり、身の回りのことを教えてあげたりする姿があり、自然と寄り添う気持ちが育っていることを感じています。

他園との交流もあり、同じ小学校に行くお友だちと自己紹介をしあい、名前を覚えて呼んでいたりと、逆上りのやり方を教えている姿もみられ、新しいお友だちとの関わりを楽しんでいました。

また4小の展覧会や北福祉館へ出かけ、地域の方々とあたたかく触れ合う機会もありました。さまざまな人との出会いを通して、子どもたちの世界がまた一つ広がったように感じます。

今後も、散歩や他園と交流できる機会を少しずつ増やしていき、子ども達の世界が広がっていくよう過ごしていきたいと思います。

